

復興を担う人材育成について

本県の現状

- 原子力災害及び東日本大震災により、今なお多くの子どもたちが避難を余儀なくされており、42校が本来の場所以外での学校運営を強いられている。
- 原子力災害による屋外活動制限の影響により、子どもたちは体力・運動能力の低下や肥満傾向児の出現率の上昇など健康状態が危惧される状況にある。
- この春新たに「ふたば未来学園高等学校」が双葉郡の未来を拓く学校として開校するなど、教育の復興は着実に進んでいる。
- 本県の子どもたちは、ふくしまの復興に貢献したいという想いを高めている。

基本的方向性

震災等を踏まえた教育施策を総合的に展開することにより、生まれ育った郷土に対する愛着と誇りを持った、ふくしまの復興を共に支え、共に歩んでいく人づくりを力強く推進

主な取組

新たな取組

- ふくしまの復興に寄与する社会体験活動の充実
 - ・復興に貢献したいという子どもたちの想いの具現化
- ふたば未来学園高校における人材育成
 - ・文部科学省スーパーグローバルハイスクール指定校としての活動
 - ・ふるさと創造学の実践等、双葉郡の中学校との連携
- 小高新統合高等学校の設置に向けた取組
 - ・新たな産業集積にも対応しうる人材育成のためのカリキュラム開発

- グローバル人材の育成
 - ・国際的素養を育成するための質の高いカリキュラムの開発・実践
 - ・本県の復興と地域活性化に貢献するグローバルリーダーの育成
- 地域産業を担う人材の育成
 - ・ロボット製作における先端技術の習得など、地域の人材や関係機関と連携した教育活動を展開
- ICT教育の充実
 - ・情報通信技術を活用し、国内や世界に向けて自ら考え、判断し、情報発信できる力の育成
- 体力向上を図る新たな取組
 - ・「(仮称)自分手帳」の作成・配付、体育の授業等への専門アドバイザー派遣等による運動能力の向上と、食育等による健康増進

震災後の取組(※今後も継続が必要)

- 震災加配教員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置
- 道徳教育、放射線教育、防災教育の充実
- 理数教育、外国語・国際理解教育の充実
- ふくしまっ子自然体験・交流活動
- 学校給食における放射性物質検査

復興を担う人材の育成